

一部の形態のBS放送受信システムの調査・対策について

(基本的な調査・対策フロー)

一部の形態のBS放送受信システムの
電波干渉問題に関する連絡会

要対策エリアの箇所数(規模)を400~500と推計

具体的な対策エリアの選定

対策エリア内において複数の測定ポイントを定め、漏えい電力が大きい方向・エリアを大まかに特定。

電測車、または手持ちのポータブル測定器等で詳細に探索し、判定基準値を超えるレベルの漏えい電波を発生している受信システムを抽出

なお、判定基準値については、調査実態をもとに、必要に応じて見直しを行う。

対策が必要と考えられる受信システムの抽出

上記受信システムを設置する世帯に対し、本調査の協力をお願い

漏えいの事実を確認

漏えい電波の発生箇所・原因を特定

必要な対策(ブースタ利得調整、ブースタ・分配器交換、ケーブル布線等)を実施

対策後の電波漏えいレベルを確認

漏えい電波発生箇所の特定及び対策

対策終了

以上のフローを基に、対策に必要な費用の総額を約12億円と見積り